

各関係機関長
各病害虫防除員 様

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成19年度病害虫発生予察注意報第8号について
平成19年度病害虫発生予察注意報第8号を発表したので送付します。

平成19年度病害虫発生予察注意報第8号

平成19年11月27日

宮 崎 県

病害虫名	キュウリ黄化えそ病
作物名	キュウリ(メロン、スイカ)
病原名	メロン黄化えそウイルス (<i>Melon yellow spot virus: MYSV</i>)
媒介虫	ミナミキイロアザミウマ

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 -

3 発生量 -

4 注意報の根拠

平成19年10月に、都城市の促成キュウリ(つる下ろし)において、本県では2例目となるキュウリ黄化えそ病の発生が確認された。本病害は、平成17年2月に佐土原町(現宮崎市佐土原町)の促成キュウリ1件で初確認されて以来、発生は見られていなかったが、今回は複数の農家で発生しており、発生地域拡大への警戒が必要である。

5 防除対策

本ウイルスは、キュウリだけでなく、メロンやスイカ等でも感染の危険性があるので、宿主植物であるすべての作物で注意を要する。

- 1) 発病株は伝染源となるので、直ちに根から抜き取り、ビニール袋等に入れて完全に枯れるまでハウス内で密封処理する。(媒介虫であるミナミキイロアザミウマの拡散を防ぐとともに死滅を図る。)

- 2) 施設栽培では施設開口部に防虫ネットを設置し、裾部等の隙間も無くし、媒介虫の侵入・拡散を防ぐ。
- 3) 青色（黄でも可）粘着トラップを施設内に設置し、媒介虫の早期発見に努める。
- 4) ミナミキイロアザミウマの防除は育苗期から徹底し、感染及び本ぼへの持ち込みを防止する。また、抵抗性の発達を避けるため異なる系統の薬剤をローテーション使用する。（農薬使用に当たっては農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努める。）
- 5) ほ場内及び周辺の雑草は、媒介虫の生息・増殖場所になるとともに、MYSVの中間宿主となるものも多いので、除草を徹底する。
- 6) 施設栽培では、栽培終了時にハウスの密閉処理を行い、媒介虫が施設外に飛び出さないようにする。
- 7) 地域間での苗の移動に関しては、育苗初期からの徹底したウイルス対策を条件とするなど、十分な注意を払う。
- 8) 本病と疑われる症状が発生した場合は、最寄りの農業改良普及センターまたは病害虫防除・肥料検査センターに連絡する。

平成17年3月17日発表の平成16年度病害虫発生予察特殊報第2号を参照のこと。

《連絡先》

病害虫防除・肥料検査センター 米良

TEL:0985-73-6670 FAX:0985-73-7499

ホームページ: <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>

E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp